

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ライフインなごみが目指すサービスのあり方を独自の理念として作り上げ、パンフレットや重要事項説明書にも記載しております。	
2	<input type="checkbox"/> 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	取り組みが足りず、理念の共有については不十分です。	○ 毎回のミーティングの中で理念を読み上げ、理念に含んでいる意味を深めて、日々のケアやケアプランに活かしていきたい。
3	<input type="checkbox"/> 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	パンフレットと重要事項説明書に記載しており、入居契約時や入居相談時に説明をさせていただいております。	
2. 地域との支えあい			
4	<input type="checkbox"/> 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	散歩や外出の際お会いした時には、挨拶や声を掛けていただいたり、差し入れや除雪等の協力をして下さる方もおられます。また、焼肉パーティの時には、近所の方にも案内を届けるなど日常的な付き合いになるよう努めております。	○ 今後も焼肉パーティ等の取り組みを続け、地域住民の方に参加していただきながら、顔なじみの関係になっていきたい。
5	<input type="checkbox"/> 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域で行なわれている月間行事を把握し、博物館の催し物に出かけたり、お祭りや流氷公園などにも行っております。	○ 夏場の外出を増やし、自治会の諸行事や、春の大掃除、地域活動等に参加し地域の方々との交流の場を増やしていきたい。

自己評価 ライフイン・なごみ4F

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域の相談機関の一つとして紹介していただいております。また、施設長と職員は地域に役立つことを何か出来ないか、話し合っております。	○	
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全員で評価を確認し合いながら、まとめ上げるよう取り組んでおります。また、昨年の外部評価でご指摘のあった項目については、改善に向け取り組んでいるところであります。	○	毎月定期的に行なわれているミーティング等で話し合いながら、改善していくことでケアの質を向上させていきたい。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヵ月ごとに運営推進会議を行い、サービス向上に取り組んでおります。		
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の職員の方には、運営面や制度的なことなど、様々な面で日常的に相談させていただき、ご指導をいただいております。		
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	現在のところ対象者はいないが、職員は権利擁護の研修会に参加しております。	○	支援が必要な方がいらした時には、制度を活用できるように体制作りをしていきたい。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	ミーティングの場で、虐待の内容について確認しあいながら、注意を払い防止に努めております。特に、身体的な暴力だけが虐待ではなく、言葉による心理的、精神的な面に及ぼす虐待にも注意を払うよう努めております。	○	研修会等に参加し、虐待防止について一人ひとりの意識を高めていきたい。

自己評価 ライフイン・なごみ4F

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用される方、ご家族の方が、できるだけ理解納得しての入居になるよう、相談時や契約書等を説明する際には気をつけております。	
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居者様からご意見、要望、苦情などを受けた時には、全職員共有しあい、改善に向けて取り組んでおります。また、運営推進会議にも参加していただき、意見や思いを伝えていただく機会を設けております。	
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月、日常の写真や載せた「なごみ通信」、金銭出納帳のコピー、日々の領収書等を送付している。また、健康面では受診時や特変時にはご家族様に報告させていただき、連携することを大切にいたしております。	○ スタッフ全員がいつでも家族への報告が出来る体制にしていきたい。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族様からいただいたご意見は、ケアや運営の改善に反映させていただきます。	○ 今後も運営推進会議に参加していただけるよう、働きかけていきたい。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	施設長は何時でも職員の意見や提案を聴く機会を設けており、可能な限り反映させております。	
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	入居者様の状況の変化や、要望に応じた勤務時間の調整ができるように努めております。また、ご家族様の状況や個別の要望に対しては、必要な支援を柔軟に提供出来るように努めております。	
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	2つのユニット合同の行事や、日頃からのユニット間の交流により、馴染みの関係が作れるよう取り組んでおります。また、離職者に代わるスタッフの確保にも力を入れております。	○ ユニット間の交流は積極的に継続していきたい。

自己評価 ライフイン・なごみ4F

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修の案内があって自主参加したり、ホームに講師の方をお招きして研修を行なう等、努めております。</p>	
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>遠紋地区のグループホームなかまの会などに出席し、交流する機会を持てるようにしております。また、運営推進会議において職員の参加も行なっております。</p>	
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>休憩時間にはゆったりとくつろげる休憩室が用意されております。また、施設長は何時でも職員の話聞きストレス軽減や職員の意欲の向上に取り組んでおります。</p>	
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>運営者は職員の勤務状況を把握し、ミーティングにも参加し、スタッフの日頃の思いを把握するようにしております。</p>	
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>入居される方が、極力、納得された上での入居になるよう、また、入居前に馴染みの関係作りができるよう、自宅や病院などを訪問し、話し合えるように努めております。</p>	
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>入居される方の思いを受け止めることと同様に、ご家族様の苦悩や希望等も伝えていただけるように努めております。</p>	

自己評価 ライフイン・なごみ4F

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居相談が即入居と言うことではなく、相談される方の置かれている状況や環境などをお聴きした上で、十分事情を把握した中から、入居が良いのかどうか相談させていただいております。		
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ご本人様が出来るだけ安心、納得できるよう、まず、ホーム見学をしていただくことをお願いしております。また、職員との馴染みの関係ができるように家庭訪問などをさせていただき、お互いが馴染む期間を大切にしております。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	買い物や調理、洗濯、掃除など、生活行為に関するものを一緒にしながら、ご本人の持てる力を引き出すことができるように努めたり、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にする生活関係を築いております。	○	現在の関係が継続できるよう支援していきたい。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様には外出や外泊、面会や電話、手紙などでの支援をお願いしております。また、面会時に食事のケアなどを行なって下さるなど、ホームを居住場所としながら、ご家族様からの支援も受けられる環境になりえていると思われまます。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	入居後もご家族様との関係が継続できるよう、外出、外泊、電話、手紙、FAX、面会などをお願いしております。		
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族様やご友人など、訪問時にはゆっくり面会していただいたり、また、馴染みの理・美容院等に通い、これまで築いてこられた馴染みの人や場所との関係が継続できるよう支援しております。		
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	職員が媒介となりながら、リビング等で一緒に過ごす時間が増えるよう支援し、馴染みの関係や利用者様同士の良い関係作りができるよう努めております。	○	お茶の時間等には必ず全員が集い楽しく会話できるように、今後も継続していきたい。

自己評価 ライフイン・なごみ4F

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	入院先の病室へ面会させていただくなどし、関わりを必要とされる方との継続した支援を大切にしております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	希望や意向を確認しながらの生活支援が徐々に出来てきている。ご自分で希望を伝えることが難しい入居者様には、その方の望みをスタッフ間でその方の立場になって話し合っております。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前のアセスメントにより、バックグラウンドを確認、把握したり、入居後も会話の中からご本人の生き方、生活歴、趣味、嗜好などについて教えていただきながら、把握に努めています。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	一日の生活の流れに沿って、お一人おひとりの過ごし方を捉えながら、ミーティング等の話し合いの場を通して、ご本人の出来る力、分かる力の現状を総合的に把握し共通認識を持って関わるようにしております。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ご本人の希望を優先し、普段の言葉や、気持ちを感じ取り介護計画を作成しています。また、ご家族様に計画の説明をしながら、ご意見の聞き取りも行なっております。		
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	期間に応じた計画の見直しを行っております。また、状況の変化や一時的な対応については、ショートケアプランを作り、ご家族様や医療機関との話し合いをしながら、介護をしております。		

自己評価 ライフイン・なごみ4F

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	生活の様子、ケアの実践やその結果、その時のスタッフの気付きをお互いに情報共有しながら、実践や介護計画の見直しに活かしております。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	その時々ご本人の希望、要望に向き合いながら、暮らしを守る為に必要な支援を行なうよう努めております。(受診、理美容、嗜好品等の買い物、電話を掛ける、手紙をFAXする等)		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	ボランティア、警察、消防など、地域資源の協力を受けております。		
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	現在はそのような支援は行なっておりませんが、ご希望やその必要性があるときには、他のサービスも利用できるように支援をさせていただきたい。		
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	ご希望や必要性が発生した時には、地域包括支援センターに協力をお願いしたいと考えております。		
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	受診先は、その方が入居前からかかっていた医療機関にすることを基本としています。必要性によっては、ご本人やご家族、主治医と相談をさせていただき、受診先を変えるなど適切な医療を受けることができるように支援をさせていただいております。		

自己評価 ライフイン・なごみ4F

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>協力医療機関やかかりつけ病院の医師に相談させていただいております。どうしても専門医で同じ医師に診ていただく必要があれば、ご家族様と相談をし、市外の医療機関に受診していただき、必要に応じ職員も生活様子の説明や、医師の説明を聴きに同行しております。</p>	
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>看護職の資格を持った職員と相談しながら健康管理を行っております。</p>	
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>早期の退院ができるよう、病院側と相談調整をさせていただいております。</p>	
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>ご本人の希望、ご家族様の同意を得て、かかりつけ医と連携しながら、できるだけ長くホームで普通の生活を送っていただけるよう(良い終末期を送っていただけるよう)取り組んでおります。</p>	
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>ご本人の希望、ご家族様の同意を得て、かかりつけ医と連携しながら、できるだけ長くホームで普通の生活を送っていただけるよう(良い終末期を送っていただけるよう)取り組んでおります。</p>	
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>移り住むことによるダメージを最小限にできるよう、情報提供書(介護添書)の提出や、当ホームでの暮らしのあり方、通院情報、好みや習慣などを退去先のスタッフにお伝えし、暮らしの継続性の確保に努めております。</p>	

自己評価 ライフイン・なごみ4F

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人の記録物は、扉つきの棚に保管し見えないようにしております。また、なごみのこころ(接遇基準)に基づきながら、入居者様の誇りやプライバシーが損なわれることが無いような言葉かけや、対応をしております。深まり方が今後の課題です。	○ 接遇基準を再確認しながら、実践に繋げていきたい。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	好みの確認や外出など、毎日の生活の中で希望の確認をしております。	
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	規則的な生活リズムを基本としながら、起床時間や入床時間などは入居者様のその日の希望に合わせて出来ております。また、職員は今日一日入居者様とどう関わるか、目的を持って出勤するようにしております。	
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	通い慣れた、今までの行きつけの理・美容院を利用していたが、社会の一員としてなじみの関係が維持できるようにしております。髪型やおしゃれについては、その日のご希望にあわせた支援をさせていただいております。	
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しいものになるよう、その方の希望や力に応じて、食事の準備や後片付けを一緒に行なっております。	○ ご希望のメニューを確認しながら、献立づくりも一緒に楽しめるように取り組んでいきたい。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのお酒、飲み物、おやつ、たばこ等を一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	お酒やタバコはホームとしては禁止しておりますが、その他の物についてはお一人おひとりの嗜好を大切に、一緒に買い物に行ったときに、好みのおやつを選んでいただいたりしております。また、病気のある方、制限のある方は健康面にも考慮しながら、量を調整しながら提供させていただいております。	

自己評価 ライフイン・なごみ4F

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄チェック表を使いながらパターンを把握し、タイミングをつかみながら声かけをさせていただいております。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は週2回、曜日や時間帯は決めさせていただいておりますが、お風呂は皆さん大好きで喜ばれております。体調などにより入浴できなかった時は、曜日をずらし入浴していただいております。また、お一人で入浴出来る方は、入浴時間の長さについては自由に入浴していただいております。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	その時々のご希望や状況に応じ、安心して休息したり眠れるように支援しております。静かな環境や、ゆっくりとした言葉遣いに気をつけて、入眠していただくようにしております。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	博物館等での催し物の見学や、地域の行事ごとなどに、ご希望を確認しながら参加しております。また、読書、花のお世話、掃除などお一人お一人の楽しみや充実につながるよう支援しております。		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を所持することの社会的な意義を大切に考え、ご家族様とも相談しながら、ご本人の希望に応じて所持・自己管理されている方もいらっしゃいます。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ホームの中だけで過ごさずに、買い物にお誘いしたり、夏場は周辺の散歩や、外のベンチで一緒に過ごしたり、畑に野菜の成長具合を観に行くなどしております。	○	天候と本人の体調を考えながら希望通りに外出が出来るように支援していきたい。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	昔住んでいた場所までドライブに行き、懐かしさを感じていただいたり、お盆に納骨堂にお参りに行ったり、菊まつり見学に行ったり等、ご希望に添った支援ができるように努めております。	○	希望される場所への外出支援は続けていきたい。

自己評価 ライフイン・なごみ4F

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご希望の際にはご家族様や知人の方にお電話ができるように支援しております。また、葉書を書いたり、手紙への返事をFAXで送信したり等、大切な方との交流が保てるように支援しております。	○	手紙等の返信や電話等の支援を続けていきたい。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会に来られたときは、お部屋でもリビングでもお好きなところでゆっくりと過ごしていただけるように心掛けております。		
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束は入居者様の関節拘縮や筋力低下などの身体的弊害や、不安や怒り、屈辱やあきらめといった精神的弊害をもたらし、ホームにとってはスタッフ自身の士気の低下や社会的な不信や偏見をもたらす為、身体拘束をしないケアを職員が厳守しており、拘束のないケアに取り組んでおります。		
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	入居者様へのさりげない目配りや、行動の予測などをしながら、防犯目的以外で鍵をかけないケアを行なっております。日中、やむを得ず施錠をする際には、危険を回避する為の最小限の時間とし、施錠の理由と施錠時間を日誌に記録するように取り決めをしております。		
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	さりげなく目配りをしながら、入居者様の様子を把握するように努めております。また、夜間も睡眠中の様子を、時間を決め確認しております。		
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	ナイフや薬類は職員が管理し危険を防ぐようにしております。刃物は危険防止のため、職員がさりげなく見守りをしながら使用していただいております。		
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	誤薬予防については、2人体制で確認し合うようにし、ミーティングにおいて火災発生時の避難誘導手順について確認しあうなど、事故防止のために取り組んでおります。		

自己評価 ライフイン・なごみ4F

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	定期的な訓練実施はできておりませんが、昨年は救命講習を全職員が受けることが出来、急変時に備えております。		
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	10月に夏場の訓練を実施しており、冬場の訓練については、スプリンクラー設置時期と重なる為、消防署と連携し時期を決め行なっていく予定です。		
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	入居時は情報収集の中から、個別に起こり得るリスクについて説明させていただいております。また、入居後は、状態等の変化に応じリスクの説明を行っております。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	体調の変化など、いつもと違う様子に気付いたときには、すぐにスタッフ間で共有しあい、必要な対応(かかりつけ医に連絡をとる、そして受診など)をしております。	○	スタッフ間での気付きを共有しあい、変化を見逃さないようにしていきたい。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の内容、目的、副作用は個人ごとの通院報告書にファイルし、全員で情報共有しております。また、服薬支援については、服薬チェック表に書いてある薬の個数と相違ないか、服薬介助前に再チェックを行い、且つ、誤薬を防ぐ為スタッフ2名で確認した上で服薬介助に当たることを基本としております。		
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	利用者様によっては、下剤で調整しており、体力的に便座での座位保持が出来ない方を除いては、トイレで排便をしていただいております。自然排便が出来るように水分量、食物繊維、果物をおやつに提供するなどを心掛けております。		
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	介助が必要な方には、介助をしながら、お一人で出来る方にはご自分で、口腔ケアを行なっていただいております。		

自己評価 ライフイン・なごみ4F

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量、水分摂取量はチェック表をつけながら、また、体重の増減も見ながら支援しております。きざみ食、ミキサー食など、個人に合わせ多くの食材を摂取できるようにしております。		
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	外出時のうがい手洗い、受診時のマスク着用、インフルエンザの予防接種を受けるなどし、感染予防に努めております。		
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材は発注を行い新鮮な物を購入、衛生面では台所や調理器具のハイター消毒をしております。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	夏場は玄関前にプランターを置き花を植え、木製の机やベンチを設置し、親しみやすい環境になるように工夫しております。		
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者様の希望に合わせ、リビング内の明かりの調整をしたり、壁には写真を貼ったり、季節に応じた花を飾ったり、落ち着ける雰囲気をもった空間になるように工夫しております。		
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合う仲間同士でリビングでお話が出来たり、人の気配を感じながら1人になる事も出来るよう、廊下にもソファを設置し、その時の気分に応じ過ごせる場所を選んでいただけるようにしております。		

自己評価 ライフイン・なごみ4F

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	写真、仏壇、本、人形、家具など、馴染みの物、使い慣れたもの、思い出の詰まった物を持ち込んでいただき、居心地の良い空間になるようにしております。		
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	急激な温度の変化にならないよう気をつけながら、時々窓を開け、空気の入れ替えを行なっております。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かし、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	バリアフリーで要所要所に手すりがあり、車椅子の方でも使用できるトイレもあります。また、紋別市社会福祉協議会様から貸与を受けた歩行器も配置し、自由に使用していただいております。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かし、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	入居時、場所が分かるように表示を取り付けさせていただくこともあります。また、場所に馴染まれ、分かれた方の案内表示は外すようにもしております。		
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	夏は畑を作り、建物の前にはベンチやプランターなどを設置し、入居者様が楽しんだり、語らい合える場として活用しております。	○	今年も一緒に語り合える場にしていきたい。

V. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる		①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
		○	③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

自己評価 ライフイン・なごみ 4F

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている		①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
		○	③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている		①大いに増えている
			②少しずつ増えている
		○	③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている		①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
		○	③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)